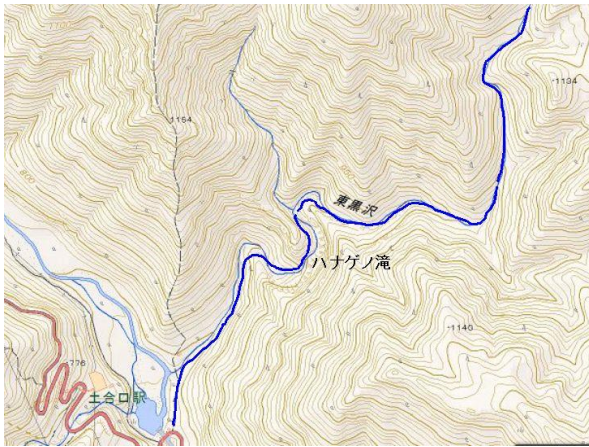


谷川：東黒沢-宝川温泉

- ◆日程 2016年10月23日(日)
◆メンバー L：小林、須田健、佐藤俊、前田
◆天候 曇り 一時 小雨



前日 22 夜、関越道を水上 IC で降り水上の道の駅でビバーク、5:30 起床、シュラフを畳みテントの中で朝食、天候は曇り、少し肌寒いですが晴れ間も見え雨は降らないなと思わせる秋の空でした。土合駅を過ぎ白毛門登山口駐車場に到着、ここでハーネス、ヘルメットなど沢装備を整え出発、ハナゲの滝下まではウォータースライダーで昨夏来たことがありました。ハナゲの滝は長さ 200m を見渡せる広大なナメ滝、周囲の木々が黄色やオレンジに染まり、秋の溪谷の圧倒的な景

色が広がっています。その後も美しいナメ滝が続きます、丸山を乗越さず、このまま引き返しても充分楽しめる場所だと思いました。

次第に沢の水流が細くなり、源頭付近から笹ヤブが出はじめた。丸山乗越は平坦で背丈ほどの笹で覆われている場所で、地図とコンパスで小まめに方向を確認しながら笹ヤブ漕ぎとなりました。20~30 分ほど進むと今度は下降が始まり、すぐ沢跡が見つかり、すんなりと沢の下降となります。難しい箇所は無く大きな滝也没有。

ウツボギ沢と合流して間もなく広河原に着いた頃、雨が本降りになりました、残置のブルーシートが有り、丁度よく雨宿りができたので、ここで昼食を取ることになりました。

ここから登山道となり宝川を遥か下方に見るトラバース道のアップダウンを進み、途中では絶景とも言える紅葉の溪谷を見ることが出来ました。宝川温泉でタクシーを呼び駐車場に戻りました。まず温泉に直行、下山後の温泉は何とも気持ちのよい風呂となりました！

入った温泉：諏訪の湯 (入浴¥300
とリーズナブル、水上インター近く)

(記:佐藤)



紅葉真っ盛りの谷川岳の白毛門。その山中を流れる東黒沢とウツボギ沢。前泊で道の駅「水上町水紀行館」でテントを張り、幕営禁止場所で怒られたりしないかドキドキしながら、それでも軽めの酒を交わして爆睡。夜明けとともに、土合駅近くの登山口の駐車場に移動。登山開始時は雲空で、気温は長袖シャツで丁度いい感じ。まずは東黒沢から遡行します。ここは小滝も多く、ナメが美しい沢です。難易度も難しくなく、紅葉を感じて癒されながら歩けます。東黒沢も上流に行くとルートが不明瞭になり小雨も降ってきます。丸山乗越付近から藪漕ぎして進み、ウツボギ沢へと移ります。ここからは下りとなり、非常に滑りやすく転倒しないよう気をつかいました。



広河原での昼食タイム。小雨の中、誰かが使っていたのだろう、次の人のためかどうかは知らないが、綺麗に畳まれたブルーシートが置いてあった。即席で屋根を作り雨宿りしながら食事。歩いているときは感じなかったが、休憩中はかなり寒さを感じました。じっとしていると寒いので、ウロチョロと動いて体温をあげていました。

それでも再び歩き始めれば温まってきます。標高も下がって、林道で宝川温泉へ向かう頃には雨もあがり、軽快に移動します。宝川温泉から出発地の登山口駐車場までは、タクシーで移動し無事全員ゴールとなりました。

私は今回 2 回目の沢登り。地図読みの勉強も兼ねて GPS に頼らずの遡行。自分の位置を把握できず、進むべき方角も見誤る、単独ならば道迷いしていたかもしれません。読図の大切さを痛感しました。

(記：前田)

CT：白毛門登山口駐車場 6:50-ハナゲの滝 7:40-東黒沢遡行-丸山乗越 11:00
-広河原 12:30-宝川温泉 15:00-(タクシー) 白毛門登山口駐車場 15:30



我ら流浪の民 食事は「リンゴ」